



CHAPTER 70

信頼要素の設定の削除

信頼要素を Cisco Unified Communications Manager データベースから削除する手順は、次のとおりです。

始める前に

1. 削除する信頼要素の要素名が記載されたテキスト ファイルを作成します。
2. カスタム ファイルを Cisco Unified Communications Manager サーバの最初のノードにアップロードします。詳細については、「[ファイルのアップロード](#)」(P.2-3) を参照してください。

カスタム ファイルに記載されている信頼要素を削除する手順は、次のとおりです。



(注) 削除トランザクションに、`bat.xlt` を使用して作成した挿入トランザクション ファイルを使用しないでください。代わりに、削除が必要な信頼要素のレコードの詳細情報を記述したカスタム ファイルを作成する必要があります。削除トランザクションには、このファイルしか使用しないでください。このカスタム削除ファイルには、ヘッダーを指定する必要がありません。名前や説明などの値を入力します。

手順

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [Intercompany Media Service] > [信頼要素 (Trust Element)] > [信頼要素の削除 (Delete Trust Element)] の順に選択します。
[Intercompany Media Service の信頼要素設定の削除 (Delete Intercompany Media Services Trust Element Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [削除 Intercompany Media Service の信頼要素、検索条件: 名前が次のカスタムファイル内にある (Delete Intercompany Media Services Trust Element where Name in custom file)] ドロップダウン リスト ボックスで、この削除に使用するカスタム ファイルのファイル名を選択します。
- ステップ 3** [検索 (Find)] をクリックします。
- ステップ 4** 検索条件に一致する信頼要素が表示されます。
- ステップ 5** [送信 (Submit)] をクリックして、信頼要素を削除するジョブを作成します。
[一括管理 (Bulk Administration)] メイン メニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。ジョブの詳細については、[第 82 章「ジョブのスケジュール」](#) を参照してください。
ログ ファイルの詳細については、「[BAT ログ ファイル](#)」(P.83-3) を参照してください。

追加情報

「[関連項目](#)」(P.70-2) を参照してください。

関連項目

- 「[信頼要素の設定の挿入](#)」(P.69-1)
- 「[ファイルのアップロード](#)」(P.2-3)
- 「[ジョブのスケジュール](#)」(P.82-1)
- 「[BAT ログ ファイル](#)」(P.83-3)